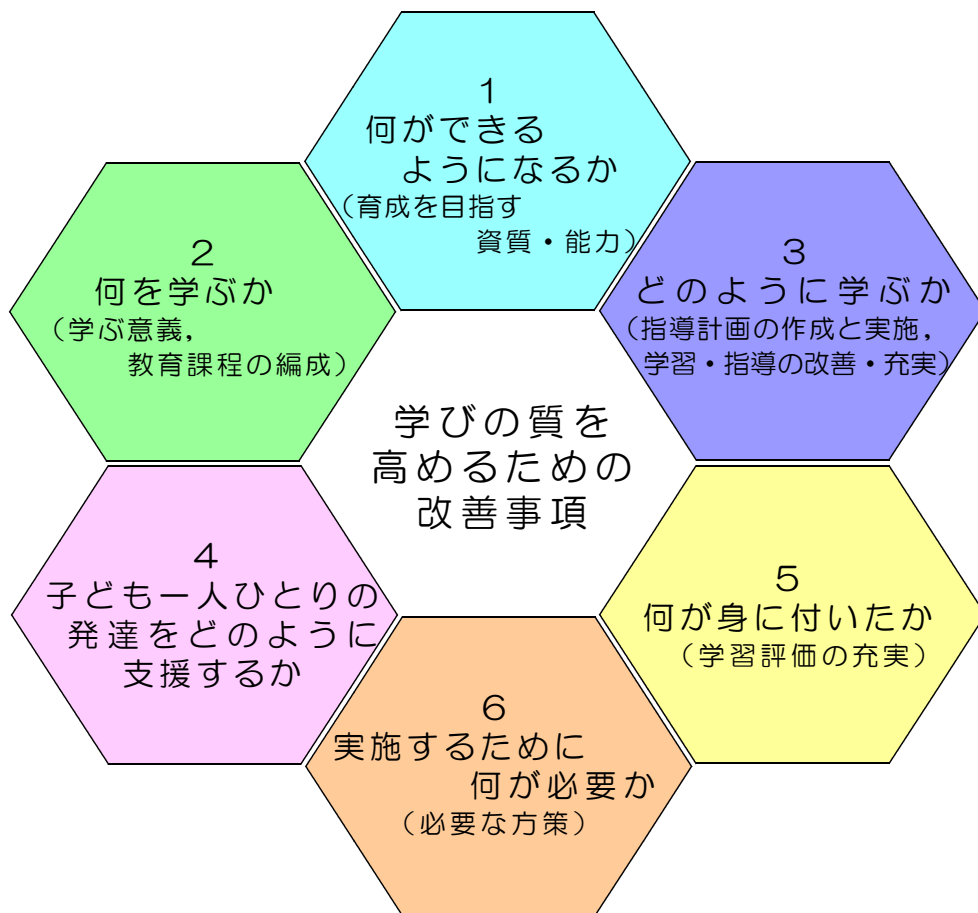


# 学びの質を高めるための授業づくり

～変化する社会を生きる力の育成のために～



平成28年12月 中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(答申)より

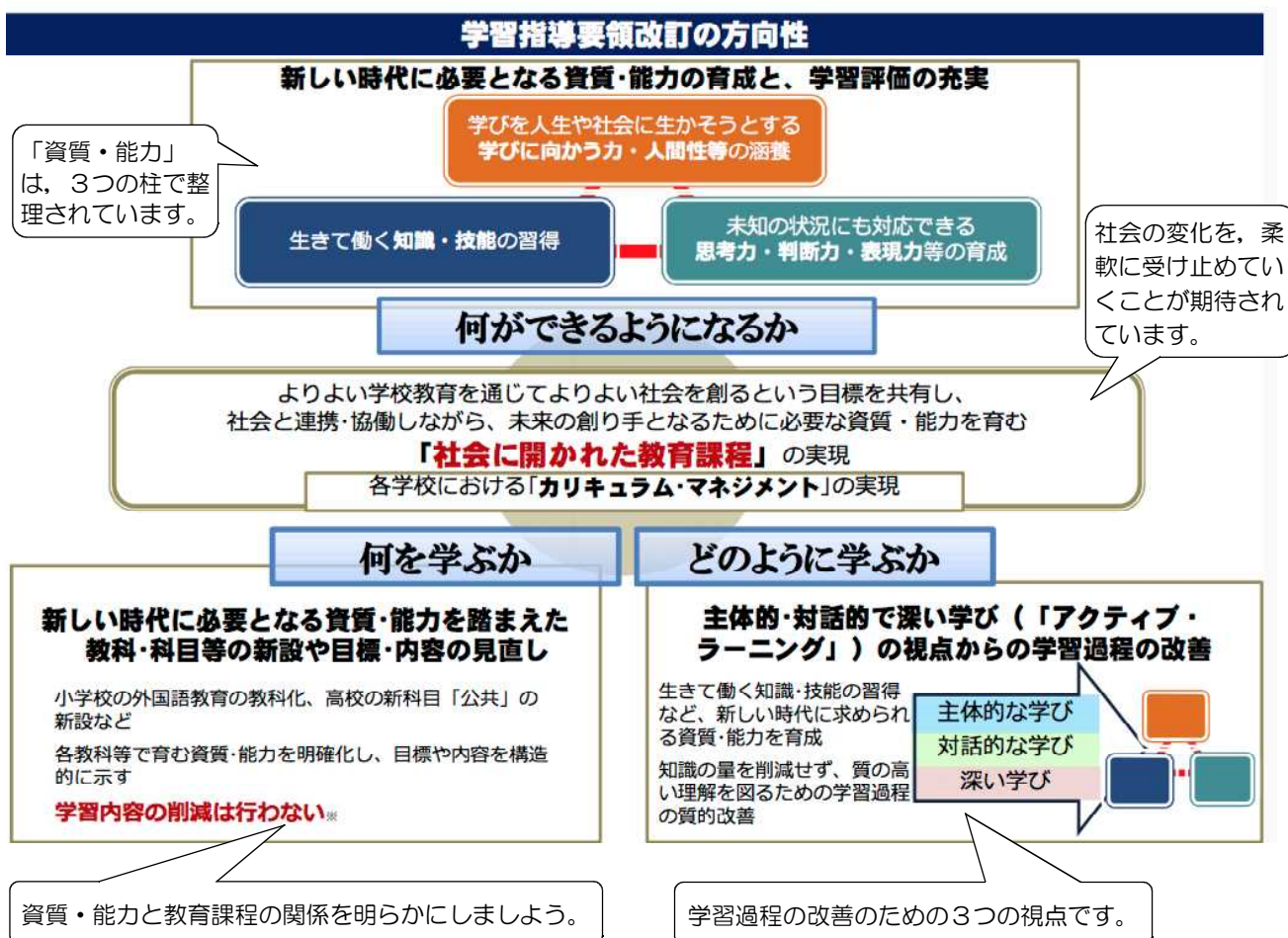
本資料では、新しい学習指導要領で求められている、学びの質を高めるための6つの改善のポイントを示しています。一人ひとりの先生が、本資料を基に、日々の実践を振り返り、工夫・改善する際の一助となるよう作成しました。

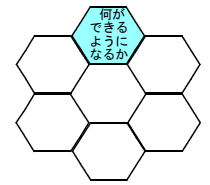
## 新しい学習指導要領の改訂のポイント

### ○ 現状の課題を把握しましょう。

- ・ 必要な資質・能力を明確にし，教科等を学ぶ本質的な意義を大切にしつつ，教科横断的な視点をもって育成を目指していきましょう。
- ・ 社会とのつながりを重視しながら学校の特色を図り，子どもたち一人ひとりの豊かな学びを実現していきましょう。

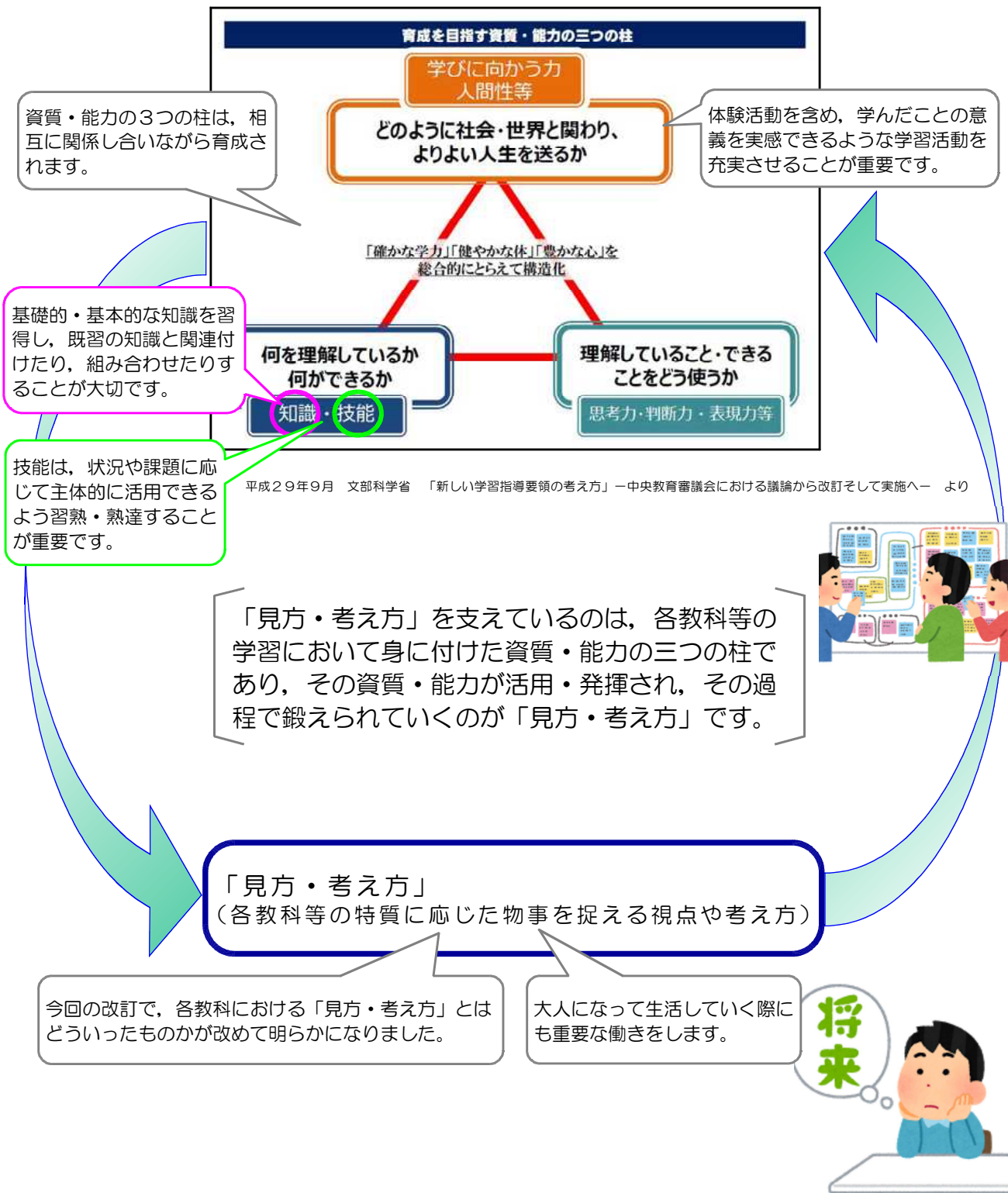
### ○ 改善のポイント「何ができるようになるか」，「何を学ぶか」，「どのように学ぶか」と教育課程との関連をしっかりと確認しましょう。



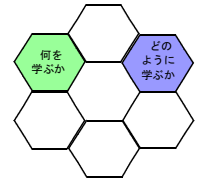


# 改善ポイント1 「何ができるようになるか」(育成を目指す資質・能力)

○ 授業づくりにおいて、「何を教えるか」がスタートではなく、子どもに身に付けさせたい資質・能力を、明確にしましょう。



改善ポイント 2, 3  
「何を学ぶか」「どのように学ぶか」



○ 教育課程と資質・能力の関係を明らかにしましょう。

- ・各教科等間の内容事項について相互の関連付けを行う全体計画を作成しましょう。
- ・各教科等で育まれた力を，教科横断的な学びを行う総合的な学習の時間や特別活動で，活用していく場面を設定しましょう。
- ・各教科等と教育課程全体の関係付けなど，教科等を超えた教職員の連携を図り，子どもに必要な資質・能力の育成につなげましょう。

○ 「見方・考え方」を明らかにした授業づくりをしましょう。

① 各教科等における見方・考え方を把握しましょう。

- ・各教科等の特質に応じた見方・考え方（例：小学校社会）

**全ての領域共通の見方（視点）**  
「位置や空間的な広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」に着目して社会的事象を捉える。

**考え方（思考の枠組）**  
社会的事象について，比較・分類や統合したり，地域の人々や国民の生活との関連付けなどを行う。

※ 各教科等の見方・考え方はP 7 参照

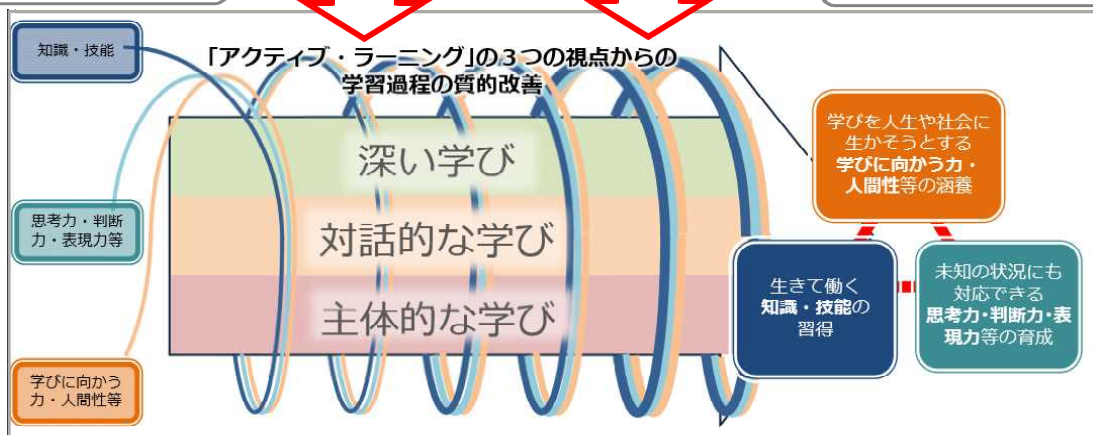
② 具体的にどこで，どのような見方・考え方を，働かせるのか，位置付けましょう。

子どもの姿をイメージしながら，活躍する場面を位置付けましょう。

**見方・考え方**

**見方・考え方**

各教科等の見方・考え方を働かせているかが，深い学びへの鍵となります。



問題解決的な学習過程 (めあて, よそう, たしかめ, まとめ)

育成を目指す資質・能力を明確にし，主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた問題解決的な学習過程の中で，具体的にどのような見方・考え方を働かせるのか，明らかにしましょう。

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、学びの質を高めましょう。

主体的・対話的で深い学びになっているか、授業をチェックしてみよう。

#### 授業づくり

- 身に付けさせる「資質・能力」を明確にしていますか。
- 子どもの学びの姿をイメージしながら授業づくりをしていますか。
- 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせていますか。
- 教える場面と、思考・判断・表現させる場面を関連させていますか。

#### 導入

- 子どもが主体的に取り組めるよう、問いや課題を工夫していますか。
- 見通しをもって粘り強く取り組めるよう工夫していますか。

#### 展開

- 子どもの反応を感じ取りながら、授業を進めていますか。
- 対話の場面では、課題解決に向けた交流となっていますか。
- 教師と子ども、子ども同士の対話等により、思考を広げ深めていますか。
- 教師と子どもで、共に考えを創り上げていますか。

#### 終末

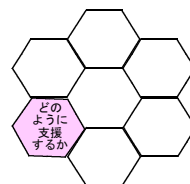
- 興味や関心を持続させるような工夫をしていますか。
- 習得した概念や思考力等を、手段として活用・発揮させていますか。
- 自己の学習を振り返らせ、次の学習につながるよう工夫していますか。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善では、次のことに気を付けましょう。

- 特定の指導方法（型）のことではありません。
- 発達の段階や子どもの学習課題等に応じて、学びを充実させましょう。
- 単元・題材のまとまりの中で指導内容と関連付けつつ、学びの質を高めていく工夫をしましょう。
- 高度な課題の解決だけを目指したり、そのための討論や対話だけの学習活動ではありません。
- 全ての教科等で、更に改善・充実させましょう。



## 改善ポイント4 「子ども一人ひとりの発達をどのように支援するか」



- それぞれの個性に応じた学びを引き出し、一人ひとりの資質・能力を高めましょう。

### 学級経営の充実

小・中・高等学校を通じて、学習や生活の基盤となる学級・ホームルーム経営の充実を図りましょう。



### 学習指導と生徒指導との関連

学習指導と生徒指導とを分けて考えるのではなく、授業改善の中で、自ずと生徒指導が機能していくことを意識しましょう。



### 個に応じた指導

個別の学習支援や学習相談など、児童生徒の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫改善を通じて、個に応じた指導を推進し、主体的に学習を進められるようにしましょう。



### キャリア発達を促すキャリア教育

職場体験活動や進学のみを見据えた指導ではなく、小学生のうちから発達の段階に応じ、社会への接続を考慮し、「働くこと」の現実や必要な資質・能力の育成につなげていく指導をしましょう。

特別活動の学級活動の中核としながら、教育活動全体を通じて行いましょう。

これまでの教育活動を、キャリア教育の視点から捉え直しましょう。



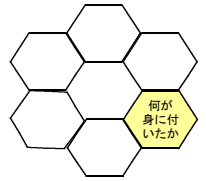
### インクルーシブ教育システムの構築

特別支援教育に関する基本的な考え方を、全ての教職員が理解しましょう。

一人ひとりの教育的ニーズに応じて、きめ細やかな指導・支援ができるよう、各教科等において、指導の工夫の意図、手立ての例を具体的に示していきましょう。



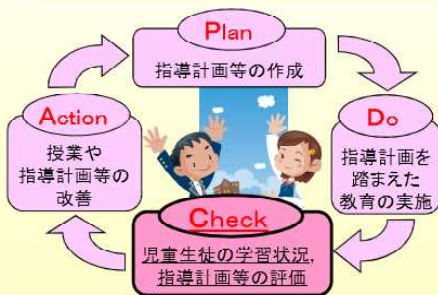
## 改善ポイント5 「何が身に付いたか」（評価の充実について）



- 前の学びからどのように成長しているか、より深い学びに向かっているか、という捉えが必要です。

### 学習指導と学習評価のPDCAサイクル

- 学習評価を通じて、学習指導の在り方を見直すことや個に応じた指導の充実を図ること、学校における教育活動を組織として改善することが重要。  
**指導と評価の一体化**



### 学力の3要素 (学校教育法) (学習指導要領)

知識及び技能

思考力・判断力  
・表現力等

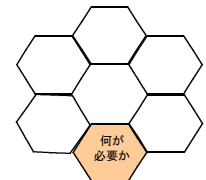
主体的に学習に  
取り組む態度

3観点に整理されています。

毎回の授業で全ての観点を見取るのではなく、単元や題材を通じたまとまりの中で学習・指導内容と評価の場面を、適切に組み立てていくことが重要です。

平成29年9月 文部科学省 「新しい学習指導要領の考え方」—中央教育審議会における議論から改訂そして実施へ— より

## 改善ポイント6 「実施するために何が必要か」



### 校内研修体制の一層の充実

教科の枠を超え、「何のために」「どのような改善をしようとしているのか」を教員間で共有しながら、学校組織全体の指導力の向上を図りましょう。  
アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を行いましょ。

### ICTの活用

ICTを積極的に活用しましょう。授業内容や子どもの姿に応じて、自在にICTを活用した授業設計を行えるように、研修を通してICTを用いた指導方法の充実・改善を図りましょう。

### 地域とともにある学校への転換

地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもを育てましょう。様々な地域人材と連携・協働し、コミュニティ・スクールを積極的に進めていきましょう。

## 各教科等の見方・考え方

|                     | 小学校   | 中学校   |
|---------------------|---|---|
| 国語科<br>(言葉)         | 対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること  |   |
| 社会科<br>(社会的事象)      | 位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに注目して、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的分野<br/>社会的事象を、位置や空間的な広がりによって捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること</li> <li>・歴史的分野<br/>社会的事象を、時期、推移などに注目して捉え、類似や差違などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること</li> <li>・公民的分野<br/>社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に注目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること</li> </ul> |
| 算数科<br>数学科          | 事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること   | 事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること   |
| 理科                  | 身近な自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの問題解決の方法を用いて考えること  | 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること  |
| 生活科                 | 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする  |   |
| 音楽科                 | 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること   | 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること   |
| 図画工作科<br>美術科(造形)    | 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと  | 感性や、想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと  |
| 体育科<br>保健体育科        | <p>体育：運動やスポーツを、その価値や特性に注目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること</p> <p>保健：個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に注目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること</p> | 技術：生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に注目して技術を最適化すること   |
| 家庭科<br>技術・家庭科       | 生活の営み：家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること  |   |
| 外国語科<br>(コミュニケーション) | 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わり方に注目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること  |   |
| 特別の教科<br>道徳科        | 様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで（広い視野から）多面的・多角的に捉え、自己の（人間としての）生き方についての考えること（括弧内は中学校の記述）  |   |
| 総合的な学習<br>の時間(探究)   | 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること   | 各教科等における見方・考え方を総合的に活用するとともに、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること   |
| 特別活動<br>(集団や社会の形成者) | 各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けること  |   |